

# 部活から地域からスポーツの頂点へ

市立浦和高校(市高)の卒業生は、さまざまなスポーツ競技で活躍している。

代表格は、2017年世界陸上男子400リレーで、日本悲願の銅メダルをもたらした藤光謙司(34、2005年卒)。アンカーに急ぎよ按察され、お家芸の完璧なバトンパスを完成させ、ゴールに飛び込んだのは記憶に新しい。市高時代も校内では「世界のフジミツ」の名で知られていた。高2で、世界ユース陸上競技選手



2017年世界陸上男子400リレー決勝で3位の日本。左手前はアンカーの藤光。右手前は足を痛めたポルト

# 青春スクロール

母校群像記 saitama@asahi.com

## 市立浦和高校8

権(カナダ)の男子マドレーリ1で2走を務め、銅メダルに輝いた。一方、2007年には準決勝で敗退。同じ年の男子圧倒的な走りを見せつけた「もっ」と力をつけないと世界では戦えない」と思っていた大大会でもあった。その男こそ「人狼速の男」となる若きウサイン・ボルト(34)。「ボルトとの衝撃的な出会いが、ぼくの短距離人生を決定づけた」と市高時代、レースのたびに自身を奮発させた。「陸上競技には、学校全体があった自主性を重んじる雰囲気があった。ユースの強化合宿でつかんだ練習方法を自分なりに取り入れ、楽しんで走っていました」



藤光は市高時代、運命の瞬間が「社長出動のフジミツ」の名もあつた



サッカー好きが高じて市高を受験した木下。見聞に行けなかった



日本スポーツ協会公認アスレチック・ミュージアムに帯同する大谷

# 小学校入試 コロナ禍での工夫

小学校入試が受験シーズンを迎えている。筆記試験で実力を測るのが難しい年代だが、恒例の「親子面接」や集団での振る舞いを見る「行動観察」も、今年ならではの取り組みをしている学校が少なくない。コロナ禍での工夫について取材した。(川口敦子)

## 教育

# 園児の接触回避・健康報告…

コロナ禍は、高校入試や大学入試だけでなく、小学校入試にも影響を与えている。各々が様々な対策を講じている。たとえば、湘南日百合学園(神奈川県藤沢市)が、長年入試に導入してきた「どんちゃんけんけん」。

人はすぐに走り出す。子どもらしい遊びで受験生の緊張が取れる上、ルールを守って仲良く遊べるかどうかが見られる。だが今年度は、感染防止のため、園児同士が接触する機会を減らす工夫がなされた。実施しないことになった。

学校説明会がなくなった。願書がオンライン受付になったりと、異例の対応が続く今年、小学校入試に、受験生や家庭はどう挑むべきなのか。幼児教室を運営する伸芽会(豊島区)の教育研究所主任研究員、佐藤真実さんに聞いた。

## 保護者みる比重例年以上か 幼児教室運営・伸芽会 佐藤さん

学校説明会がなくなった。願書がオンライン受付になったりと、異例の対応が続く今年、小学校入試に、受験生や家庭はどう挑むべきなのか。幼児教室を運営する伸芽会(豊島区)の教育研究所主任研究員、佐藤真実さんに聞いた。

Table with 2 columns: 市町村別などの感染者数, 人数. Lists various municipalities and their respective numbers of cases.

ダリコレクション 諸橋近代美術館. Advertisement for a collection of Salvador Dali's works.

幼稚園義務化で学力差は... 清水章弘先生のなせなせ勉強法. Article discussing educational differences and a study method.

川崎大佛 墓まい合祀. Advertisement for a religious event at the Kawasaki Daibutsu.

目元の小ジワをピンと引き上げて塗るだけ! SPEED Eye Lift. Advertisement for an eye cream with detailed product information and pricing.